

取扱説明書

2分割刈払機 セル付

HG-BC260S

 混合燃料	無鉛レギュラー ガソリン	25:1	2ストローク用 オイル	左記以外や25:1~50:1 のような幅を持たせた 混合燃料使用不可
---	-----------------	-------------	----------------	--

★ご使用前に、必ず取扱説明書をお読みにになり、内容を理解してからご使用ください。



TOP	1
表紙	1
はじめに	4
安全上のご注意	4
製品をご愛顧いただくために	5
安全にお使いいただくために	6
リサイクル	8
主要諸元	9
振動障害の防止	10
各部の名称	11
梱包部品一覧	13
組立て	15
組立て	15
ハンドルの取付け	16
刈刃の取付け	18
飛散防止カバーの取付け	20
ナイロンカッターの取付け	21
メインパイプの接続	23
メインパイプの取外し	25
肩掛けストラップの取付け	26
バッテリーの充電	27
バッテリーの取付け	28
バッテリーの取外し	29
運転前の点検	30
運転前の点検	30
混合燃料25:1の作り方	31
燃料の点検・補充	32
配線端子（コネクタ）の点検	33
刈刃の点検・交換	34
運転操作の仕方	35
運転操作の仕方	35
エンジンのかけ方	36
エンジンの止め方	40
刈払作業の仕方	41
刈払作業の仕方	41
作業手順	42
キックバックについて	44
飛散防止カバーについて	45
蔓などが絡まったら	46
肩掛けストラップについて	47
点検整備・清掃の仕方	48
点検整備・清掃の仕方	48
エアクリーナー	49
点火プラグの点検	50
ギヤケース	51
刈刃	52
アイドルリングの調整	53
キャブレターの調整	54
シャフトのグリス補充	55
燃料の抜き方	57
コネクタ	58
長期間使用しない時	59
本機を2週間以上使用しない時	59
バッテリーについて	60
困ったときの対処法	61

困ったときの対処法（点火プラグの点検）	62
保証内容について	64
お客様ご相談窓口	65
修理協力店	67
カスタマー・サポート	68

はじめに

このたびはお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

誤った使い方をすると、重大な事故につながるおそれがあります。本製品を使用する前に、この取扱説明書をよく読み、内容を十分に理解してください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

安全上のご注意

※お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示と意味をよく理解してから、本文をお読みください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に、必ず保管してください。
- すべて安全に関する内容です。必ずお守りください。

■表示内容を無視して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。



注意

この表示の欄は、「軽症、物的損害、故障が生じる恐れがある」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



禁止

このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



強制

このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

製品を長くご愛顧いただくために

取扱説明書に従った正しい取扱や定期点検、保守を行ってください。注意事項に従わず何らかの損害・故障が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。

安全にお使いいただくために

誤った使い方をすると、重大な事故につながるおそれがあります。本製品を使用する前に、この取扱説明書をよく読み、内容を十分に理解してください。また、各ページの警告・注意事項も飛ばさず、必ずお読みください。

2分割刈払機に係る安全事項



警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">エンジンが熱いうちは、給油しないでください。燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。回転している部分の近くに手または足を入れないでください。エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱いの注意事項をよく理解したうえでご使用ください。正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。未成年者の単独使用は禁止です。保護者等の監督下で作業してください。成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、単独の使用をしないでください。
 強制	<ul style="list-style-type: none">運転中は、排気ガスに十分注意してください。燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。燃料をこぼさないように注意してください。燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。燃料キャップは確実に閉めてください。刈刃の取付けは確実に行ってください。必ず両手でしっかり本体を保持してください。エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。始動前点検を実施してください。使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。燃料は潤滑油混合ガソリンを使ってください。部品交換は、純正部品を使用してください。本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。定期点検整備を行ってください。子供の手の届かない安全な場所に保管してください。



注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none">指定された用途以外には使用しないでください。
 強制	<ul style="list-style-type: none">長期間使用しない場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。部品交換は、純正部品を使用してください。本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。

2分割刈払機の作業に係る安全事項



警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none">身体の調子が悪い時や、判断力に影響するような酒類、薬物を服用しているときは、使用しないでください。動作中は刈刃や回転部分に顔や手足を近付けないでください。ご使用時は、使用者から15m以内は危険です。人や動物が入らないようにしてください。夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。作業中に異物に当たったり、異物を吸い込んだ場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。急傾斜地では使用しないでください。機械の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。
--------	--



- ・ 長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい安全靴、防振手袋、保護メガネ、ヘルメット、耳栓、防塵マスク、すねあてなどの作業に適した服装を着用してください。
- ・ 長い髪は束ね、帽子やヘルメットでカバーしてください。
- ・ 万一来、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。
- ・ 本機を長時間使用しないときは、取扱説明書にしたがって保管してください。
- ・ 適切な間隔で休憩をとってください。
- ・ 石、コンクリート、金属など、硬質な物がある場所では使用しないでください。
- ・ 本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
- ・ 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- ・ キックバックに注意してください。
- ・ 持ち運ぶときは、エンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き、刈刃が完全に止まってから、刈刃にカバーをつけてください。



- ・ 弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・ 燃料タンクに、2ストローク用オイルだけ、無鉛ガソリンだけを入れしないでください。
- ・ 燃料タンクに4ストローク用オイルを入れしないでください。

バッテリー、充電器に係る安全事項



- ・ 火気を近づけず通気の良い場所で充電してください。発生したガスに引火し爆発することがあります。
- ・ 必ず専用充電器で充電してください。自動車等の充電器を使用しないでください。
- ・ バッテリー、充電器を分解しないでください。
- ・ バッテリーの近くで工具やその他金属を使用する場合、端子の接触、短絡に注意してください。感電や火災の発生の恐れがあります。
- ・ 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- ・ 周囲温度が10℃未満、あるいは周囲温度が40℃以上ではバッテリーを使用・充電・保管しないでください。破裂や火災の恐れがあります。エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。

リサイクル

	<p>分別して収集してください。通常の家庭ごみと一緒に廃棄しないようにしてください。 製品を交換する必要がある場合、または使用しなくなった場合は、家庭ごみと一緒に廃棄しないようにしてください。この製品を分別収集できるようにしてください。</p>
	<p>使用済みの製品と梱包材を分別収集することで、材料をリサイクルして再び使用することができます。 リサイクルされた材料の使用は環境汚染を防ぎ、原材料の必要量を減らします。</p>
<p>Batteries</p>  <p>Li-ion</p>	<p>耐用年数の終わりには、環境に配慮してバッテリーを廃棄してください。バッテリーには、お客様と環境にとって危険な物質が含まれています。リチウムイオン電池を使用する機器では、これらの材料を別々に取外して廃棄する必要があります。</p>

主要諸元

モデル名	HG-BC260S
エンジン	2ストローク空冷エンジン
排気量	26cm ³
始動方式	セルスターター
燃料	混合燃料 (25 : 1)
燃料タンク容量	600ml
3軸合成値	8.0m/s ² K=1.5m/s ²
センターボルトサイズ	M10 × 1.25
刃受け金具サイズ	Ø25.4mm
互換点火プラグ	BPM7A(NGK)
サイズ (幅×長さ×高さ)	630 (ハンドル含む) ×1720 (ギヤケース中心まで) ×260mm
本体重量	6.6kg

©弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。どうぞご理解・ご了承ください。

振動障害の防止

● 1日の使用時間について

1日の作業時間は、機体または取扱説明書に表示の「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」により、厚生労働省通達で決められています。

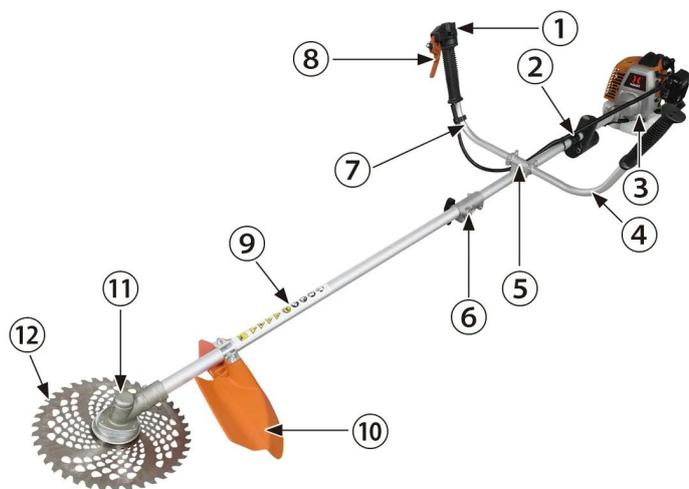
① 10m/s ² より小さい場合	
1回の連続作業時間	10分以内
1日の作業時間	2時間以内

● 製造時の振動レベル維持のため

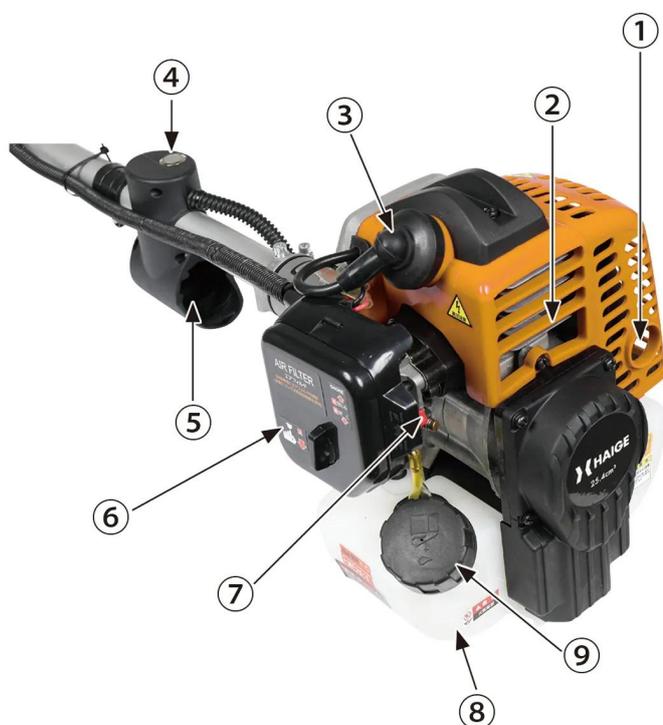
- ・ 定期的に点検、整備を行い、常に最良の状態を保ってください。
- ・ 異常がある場合、速やかに使用を中止し、点検整備を行ってください。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



- ①エンジンスイッチ
- ②ハンガー
- ③本体
- ④左ハンドル
- ⑤ハンドルブラケット
- ⑥ジョイント金具
- ⑦右ハンドル
- ⑧アクセルレバー
- ⑨メインパイプ
- ⑩飛散防止カバー
- ⑪ギアケース
- ⑫刈刃



- ①マフラー
- ②エンジン
- ③点火プラグキャップ
- ④セルスターター
- ⑤バッテリー挿入口
- ⑥エアクリナー
- ⑦チョークレバー
- ⑧燃料タンク

⑨燃料キャップ

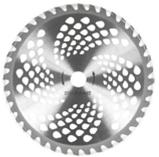
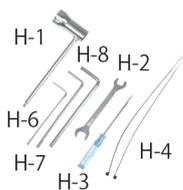
梱包部品一覧

1. ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
2. 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
3. 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。



警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を入手するまで使用しないでください。

<p>A. 本体</p> 	<p>B. 刈刃 外径：Φ255mm×40T センター穴径：Φ25.4mm</p> 
<p>C. 肩掛けストラップ</p> 	<p>D. メインパイプ</p> 
<p>E. 左ハンドル</p> 	<p>F. 飛散防止カバー</p> 
<p>G. 混合タンク</p> 	<p>H. 工具★</p> 
<p>I. 充電器</p> 	<p>J. バッテリー</p> 
<p>K. ナイロンカッター</p> 	<p>L. ナイロンコード サイズ：約2.5mm角×長さ約235mm</p> 

★付属の工具は、簡易的なものです。サービス品です。予告なく終了する場合があります。
 ※製造時期により仕様変更になる場合があります。

■ご用意いただくもの

混合燃料を作る場合に必要になります

- ・無鉛レギュラーガソリン
- ・2ストローク用オイル JASO FB
- ・漏斗（じょうご）

組立て

組立て



- 組立を行うときは、必ずバッテリーを抜いてから行ってください。
- 作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- 組立後は、すべての部品が確実に取付けていることを確認してください。

組立て

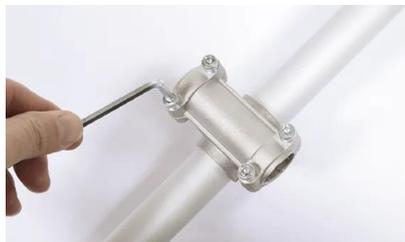
ハンドルの取付け

スロットルレバーが右側になるように、左右のハンドルをメインパイプに取付けます。

■使用工具：六角レンチ

1

ハンドルブラケットに仮留めしている4本の取付ボルトを緩め、ハンドルブラケットを取外します。



2

ハンドルブラケットに、スロットルレバー付ハンドルが右側、もう一方のハンドルを左側に乗せます。その際、左右が中央になるようにします。



3

ハンドルを使いやすい角度に調整し、4本の取付けボルトを均等に締め、ハンドルを確実に取付けます。



4

付属の結束バンドでワイヤ類を固定します。





警告

- 刈刃を取付けるときは、必ずバッテリーを抜いてから行ってください。
- 刈刃にひび割れ、変形がないことを確認後、取付けてください。
- 刈刃の取付けは、手袋着用の上、行ってください。
- 取付け後、刈刃にがたつきがなく、中心の丸穴にズレが無いことを確認してください。
- エンジンをかけた際、振動が大きい場合は、偏芯の可能性があります。そのまま使用されますと、重大な事故や故障につながります。刈刃は確実に取付けてください。

組立て

刈刃の取付け

刈刃を取付けます。

■使用工具：六角レンチ、ボックスレンチ

1

ギヤケースが上に向くように本体を置きます。



2

ギヤケースの固定穴に六角レンチを挿込み固定し、ボックスレンチで取付ナットを時計回り（逆ネジ）に回して刃押さえ金具、ナットカバーを取外します。



3

六角レンチをギヤケースの穴に挿込みます。



4

刃受け金具の凸部分に、刈刃の穴がずれないように、刃の向きに注意して置きます。



刃受け金具の凸部から刃がずれていると偏心を起し、振動が激しくなります。しっかりはめてください。



5

刃押さえ金具を取付けます。この時、刃受け金具から刃がずれやすくなりますので、ご注意ください。



6

ナットカバーを挿込み、ギヤケースの固定穴に挿込んだ六角レンチを押さえ回転を止めながら、ボックスレンチで取付ナットを反時計回りに回し締付けます。



組立て

飛散防止カバーの取付け

メインパイプに飛散防止カバーを取付けます。

■使用工具：六角レンチ

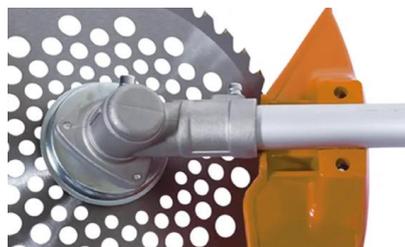
1

飛散防止カバーに仮留めされている、取付けボルト、カバーホルダを取外します。



2

飛散防止カバーの凹み部分をパイプにはめ込み、カバーホルダで挟み込むように取付けボルトを上部カバーホルダから通し、飛散防止カバーを確実にメインパイプに取付けます。



組立て

ナイロンカッターの取付け

1

ギヤケースの固定穴に六角レンチを挿込み固定し、ボックスレンチで取付ナットを時計回りに回して刃押さえ金具、ナットカバーを取外します。



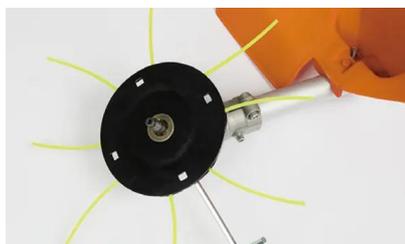
2

ナイロンカッターにナイロンコードを2カ所または4カ所通します。



3

刃受け金具の凸部分に、ナイロンカッターの穴がずれないように注意して置きます。



4

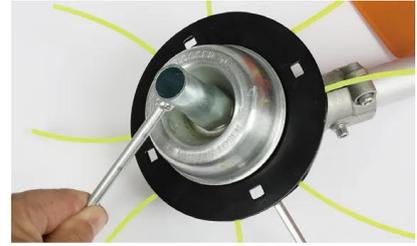
刃押さえ金具を取付けます。



5

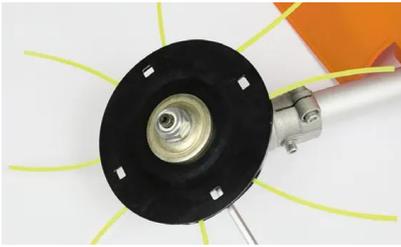
ナットカバーを挿込み、ギヤケースの固定穴に挿込んだ六角レンチを押さえ回転を止めながら、ボックスレンチで取付ナットを反時計回りに回し締付け

ます。



6

ナットカバーは付けなくても構いませんが、センター軸が作業中に引っかかる可能性があります。



組立て

メインパイプの接続

メインパイプを本体パイプと接続します。

※パイプ内のシャフトには、パイプを接続する度にグリスを塗布してください。

1

ノブナットを緩め、メインパイプのロック穴と本体パイプのロックピンの穴の位置を合わせます。



2

ロックピンを引張りながらメインパイプが本体パイプに突き当たるまで挿込み、ロックピンがメインパイプの穴に入ったら指を放します。
※確実に接続されたかメインパイプを引っ張り、確認します。



3

ノブナットを締付けます。



メインパイプが入らない場合

メインパイプを挿込む際に中にシャフトがあります。
多角形になっているものが本体側とメインパイプ側にそれぞれメス側とオス側があり、それがしっかりとハマる様に一度突き当たった後に左右に回します。(下記写真○部分) しっかりかみ合えばそこから更に奥に入ります。



メインパイフ



本体側

組立て

メインパイプの取外し

1

ノブナットを緩めます。

2

ロックピンを引きながらメインパイプを引き抜きます。
(抜いた際にシャフトが連結したままの状態の場合は、点検整備・清掃の仕方「シャフトのグリス補充」をご覧ください。)

組立て

肩掛けストラップの取付け

肩掛けストラップを本体のハンガーに取付けます。

1

肩掛けストラップのフックをメインパイプのハンガーにかけます。



2

エンジンが体の右側にくるように、肩掛けストラップを左肩にかけます。



3

刈刃の高さが、地面から10cm位になるようにストラップの長さを調整します。
※芝の場合は地面に当てます。



組立て

バッテリーの充電

1

バッテリージャックに充電器のプラグを挿込みます。



2

電源プラグをコンセントにしっかり挿込むとランプが赤く点灯し充電が開始されます。緑点灯する場合は満充電に近い状態です。



3

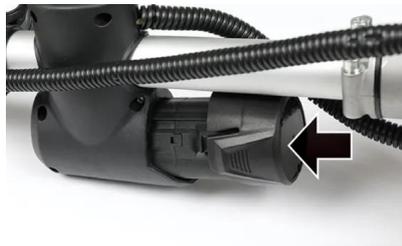
おおよそ5~6時間で満充電になります。満充電になると充電器の赤いランプが緑に変わります。

組立て

バッテリーの取付け

1

本体のバッテリー挿入口にバッテリーを挿入します。



2

最後までしっかり挿入します。



組立て

バッテリーの取外し

1

バッテリーの左右部分を押しながら引抜きます。



運転前の点検

運転前の点検



警告

- ・ エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・ 燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・ 運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・ 燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・ 燃料をこぼさないように注意してください。 所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・ 燃料がこぼれた場合は、直ちに拭き取ってください。
- ・ 燃料は、無鉛レギュラーガソリンと2ストロークエンジンオイルの混合燃料を使用してください。ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付きます。
- ・ 混合燃料は、一度に使い切るだけ作ってください。



注意

- ・ 燃料キャップは確実に締めてください。
- ・ 長期間使用しない場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・ 給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・ 弊社は、燃料の販売はしていません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・ 燃料タンクに、2ストローク用オイルだけを入れしないでください。
- ・ 燃料タンクに4ストローク用オイル、チェンオイルを入れしないでください。



運転前の点検

混合燃料25:1の作り方

市販の25:1~50:1というような幅を持たせた混合燃料やその他使用範囲のある混合燃料は、絶対に使用しないでください。エンジン焼き付きの原因になります。

★必ず指定のオイルを指定された割合で混合してください。

1

- ・ 無鉛レギュラーガソリン
 - ・ 2ストローク用オイル JASO FBまたはFC、FD
 - ・ 漏斗（じょうご）
 - ・ 混合タンク（付属）
- を準備します。

2

混合タンクを25:1と表示されてる向きにします。

3

左にオイル、右にガソリンを入れます。オイルを”5”の位置まで入れた場合、ガソリンも”5”まで入れます。

4

混合タンクのキャップをしっかり締め、混合タンクを振り、カクハンします。

B混合タンク



	ガソリン	オイル
25:1 ガソリン オイル割合 早見表	100ml	4ml
	200ml	8ml
	300ml	12ml
	400ml	16ml
	500ml	20ml
	600ml	24ml

運転前の点検

燃料の点検・補充

燃料の量を点検し、不足している場合は補給します。

■燃料の給油

1

混合燃料（25:1）を準備します。（運転前の点検「混合燃料25:1の作り方」参照）

2

燃料キャップ面を上にして開けます。



3

混合燃料（25:1）を、少しずつこぼさないよう漏斗（じょうご）等を使い給油します。

4

給油が終わったら燃料キャップをしっかり締めます。

運転前の点検

配線端子（コネクタ）の点検

輸送時の振動でまれに配線端子（コネクタ）が緩むことがあります。この状態では、エンジンが止まらなくなります。必ず確認をしてください。



運転前の点検

刈刃の点検・交換

刈刃の状態を点検し、不具合がある場合や切れ味が悪くなったら、新しい刈刃に交換します。



- ・ 刈刃を取付けるときは、必ずエンジンを停止してください。
- ・ 刈刃の交換は、手袋着用の上、行ってください。

1

刈刃の緩み、ひび割れ、曲がり、欠け、摩耗がないか点検します。
不具合がある場合は、新しい刈刃に交換してください。（取付方法は、組立て「刈刃の取付け」参照）

2

刃の向きが合っているか確認します。



運転操作の仕方

運転操作の仕方



警告



禁止

- ・燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- ・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。
- ・回転している部分の近くに手または足を入れないでください。



強制

- ・エンジン始動時、刈刃が回り始めることがあるので、刈刃が地面等に触れていないことを確認してください。
- ・必ず両手でしっかり本体を保持してください。
- ・平坦な場所で作業を行ってください。
- ・エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- ・本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- ・少しの移動でもエンジンを停止し、ハンドルを持って運搬してください。



注意

エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。

運転操作の仕方

エンジンのかけ方

■エンジンが冷えている時のかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが冷えている場合です。翌日の再始動などがこれに当たります。



1

エンジンスイッチをON「START」にします。



2

プライマリーポンプに燃料が溜まるまで繰り返し押します。リターンパイプに燃料が流れることを確認します。



3

チョークレバーを引上げ「閉」にします。(エンジンが冷えている場合)この時「カチッ!」と音がするまで引上げてください。



4

本機をしっかり保持し、セルスターターを押込みます。



 注意

チョークレバーを「閉」の状態、セルスターターを押し続けると燃料を吸い込みすぎて、エンジンが始動しにくくなります。万が一、濡らしてしまった場合は、困った時の対処法（点火プラグの点検）をご覧ください。

5

初爆…「ブルンッ」というエンジンがかかりそうな音が一回だけ起こるまで、5回繰り返します。

 注意

セルスターターモータを連続で5秒以上回転させないでください。バッテリー上がりの原因になります。

●初爆が確認できた場合

1

チョークレバーを「開」にします。



2

セルスターターを押込みます。

3

そのまま暖機運転を30秒程度行います。この時、刈刃が回転する場合は、アイドルリングの調整を行ってください。（点検整備・清掃の仕方「アイドルリングの調整」参照）

4

エンジンが止まりそうなら、エンジン回転を上げます。（エンジンをふかす）（運転操作の仕方「■エンジンが温まっている時のかけ方」参照）

●初爆と同時に始動した場合

1

チョークレバーを「開」にします。



2

そのまま暖機運転を30秒程度行います。この時、刈刃が回転する場合は、アイドル調整を行ってください。
(点検整備・清掃の仕方「アイドル調整」参照)

3

エンジンが止まりそうなら、エンジンの回転を上げます。
(エンジンをふかす) (運転操作の仕方「■エンジンが温まっている時のかけ方」参照)

■エンジンが温まっている時のかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが温まっている場合です。再始動などがこれに当たります。

1

エンジンスイッチをON「START」にします。



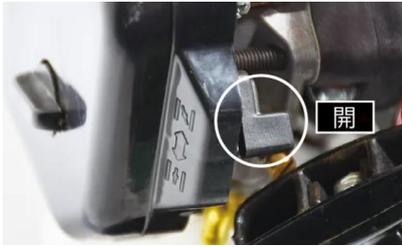
2

プライマリーポンプを繰り返し押します。(5回前後) リターンパイプに燃料が流れることを確認します。



3

チョークレバーを「開」にします。



4

本機をしっかり保持し、セルスターターを押込みます。

5

エンジンがかからない場合は、運転操作の仕方の「■エンジンが冷えている時のかけ方」を行ってください。



アクセルレバーの操作方法

調整ノブを回すことで、アクセルレバーの握り代を規制し、刈刃の回転の上限を調整します。



アクセルレバーを徐々に握ると、エンジンの回転が速くなり、刈刃が回転し始めます。さらに握ると調整ノブの位置で回転数を維持します。



上記の状態、さらにサブレバーを握ると高回転になります。



運転操作の仕方

エンジンの止め方

1

アクセルレバーより手を放し、低速運転にします。



2

エンジンスイッチをOFF「STOP」にします。



エンジンが止まらない

振動等で配線端子（コネクタ）が緩んだり、抜けたりするとエンジンが止まらなくなります。あわてずに、端子を確認し、強く挿込んでください。運転前に確認する癖をつけると、トラブルを未然に防ぐことができます。



刈払作業の仕方

刈払作業の仕方



- 身体の調子が悪いときは、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- 動作中は刈刃や回転部分に顔や手足を近づけないでください。
- ご使用時は、使用者から15m以内は危険です。人や動物がはいるないようにしてください。
- 夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。
- 足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。
- 作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、刈刃に異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ本機を再始動しないでください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- 作業中、先端部分をひざの高さより上に上げないでください。



- 適切な間隔で休憩をとってください。
- 石、コンクリート、金属、など硬質な物がある場所では使用しないでください。
- 本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
- 危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
- キックバックに注意してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止し、燃料タンクから燃料を抜き、ハンドルを持って運搬してください。
- 肩掛けストラップに本体を吊り下げ、しっかりハンドルを握って操作してください。
- 燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。
- 急傾斜地では使用しないでください。

刈払作業の仕方

作業手順

1

作業場所の石や空き缶、木片、障害物を取除きます。

2

エンジンが右側にくるように、肩掛けストラップを左肩にかけます。



3

刈刃の高さが地面から10cm位になるように肩掛けストラップの長さを調整します。



4

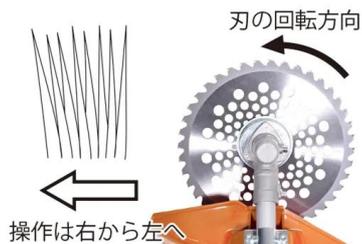
ハンドルの握りを緩めた時でも、刈刃の地面からの高さが大きく変化しないことを確かめます。

5

エンジンを始動します。(運転操作の仕方「エンジンのかけ方」参照)

6

右から左に振るように作業を行います。
その際、パイプを振り回すのではなく、腰の移動で、刈刃が水平に右から左に弧を描くように行います。
※左から右へ動かすとキックバックにより危険です。



7

エンジンの回転数は、草の抵抗に合わせて、調整してください。

刈払作業の仕方

キックバックについて

回転中の刈刃が樹木などの障害物に接触して、刈刃の回転方向の反対側へ跳ね返ることをキックバックといいます。



正面から右 90° までの刈刃の部分が障害物や地面に接触した瞬間に、刈刃全体が反発し、刈払機ごと跳ね返されることがあります。この部分に障害物を接触しないように十分注意してください。

刈払作業の仕方

飛散防止カバーについて

飛散防止カバーは飛散物から使用者を防護するためのものです。



警告

草が絡まりやすくなるなどの理由から、飛散防止カバーを取外して作業することは絶対におやめください。
飛散物による事故にあう危険があります。

刈払作業の仕方

蔓などが絡まったら

草の刈取り作業中に蔓などがからみ、刈刃の回転が止まる場合があります。



絡まったら、必ずエンジンを止めてから除去してください。
アイドルリングの調整が不十分な場合、アクセルレバーを放しても刈刃が回転することがあり、草が取れた途端に刈刃の回転が再開し、手をけがする可能性があります。

刈払作業の仕方

肩掛けストラップについて

肩掛けストラップは作業のしやすさや機械の重量の軽減などの効果がありますが、安全面においても必ず装着してください。



肩掛けストラップを装着していない状態で転倒した場合、刈刃が容易に身体に触れることがあり、大変危険です。

点検整備・清掃の仕方

点検整備・清掃の仕方



警告

- ・点検整備をするときは、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- ・点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。



注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

対象部品	点検項目	運転前の点検	初回は10時間運転後	3カ月毎または50時間運転毎	6カ月毎または100時間運転毎	1年毎または300時間運転毎	掲載ページ
燃料	燃料量、漏れ	●					運転前の点検「燃料の点検・補充」
エアクリーナー	清掃			●			点検整備・清掃の仕方「エアクリーナー」
	交換					●	点検整備・清掃の仕方「エアクリーナー」
点火プラグ	清掃				●		点検整備・清掃の仕方「点火プラグの点検」
	交換					●	点検整備・清掃の仕方「点火プラグの点検」

点検整備・清掃の仕方

エアクリーナー

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがひどいときはよく洗います。

1

エアクリーナーカバー取付けバックルを緩め、カバーを取外します。



2

エアフィルタの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りのぬるま湯で丁寧に洗い、よく乾燥させます。

3

取外しと反対の手順で取付けます。

点検整備・清掃の仕方

点火プラグの点検

点火プラグの電極を点検し、汚れている場合は、ワイヤブラシで清掃してください。

1

プラグカバーを外し、付属のプラグレンチで、点火プラグを取外します。
※カバーを取外す際、左右にグリグリ回しながら引き抜くことで簡単に取外することができます。



2

電極の周辺に、オイルや堆積物が付着している場合はワイヤブラシで清掃します。



適応点火プラグ	BPM7A (NGK)
---------	-------------

3

取外しと反対の手順で取付けます。
※点火プラグは、点火プラグキャップにしっかりとめつけてください。はめ込みがあまりいと点火しません。

点検整備・清掃の仕方

ギヤケース

25時間毎に、グリス（耐熱用リチウム系グリス）の補充を行います。

1

グリス注入ボルトを取外します。



2

ネジ穴から、新しいグリスを充填します。



刈刃

刈刃のひび割れ、曲がり、摩耗、欠けなどの異常がないか点検し、異常があるときは新品と交換します。

点検整備・清掃の仕方

アイドリングの調整

エンジン始動時に刈刃が回転したり、スロットルレバーを低速側に戻し、アイドリング状態にしても刈刃が回転する場合は、アイドリング調整を行います。

1

アイドリング調整は、付属のプラグレンチのドライバーで調整スクリュを回してください。



2

アイドリング時に調整スクリュを反時計回りに回すと、回転が下がり刈刃が回転しなくなります。調整スクリュを時計回りに回すと回転数が上がります。



ワンポイント

調整していくうちに、どれだけ回したかがわからなくなることがあります。その場合は、一旦右へ全閉に回し、そこから一回転半左に回した位置が出荷時の基本位置となります。

点検整備・清掃の仕方

キャブレターの調整

アクセルを握ってもエンジンが吹き上がらないときは、キャブレターの調整をします。



1

現時点の位置から反時計回り1回転させることで、吹き上がりが良くなります。



2

上記で調子が悪くなった場合は、時計回りに2回転させることで、良くなります。
※回転位置が分からなくなった場合は、時計回りに止まるまで回し、その位置から反時計回りに1回転半で元の位置に戻ります。そこから再度調整をしてください。



点検整備・清掃の仕方

シャフトのグリス補充

連結する前にグリス（耐熱用リチウム系グリス）の補充を行います。

1

本体側のシャフト全体にグリスを補充します。



2

メインパイプ側のシャフト全体にグリスを補充します。



3

メインパイプを本体から引き抜く際、シャフト同士が連結されたままの状態になる場合があります。



4

①の端部を本体側に軽くハンマー等でたたくと抜けます。



5

それでも抜けない場合は、①を回すと本体側のシャフトと分離しますので、その後、「4」の手順を行います。



点検整備・清掃の仕方

燃料の抜き方

1

組立て「メインパイプの接続」を参照して、メインパイプを取外します。



2

漏斗（じょうご）など燃料を入れる容器を準備します。

3

燃料キャップ面を上にして開けます。



4

燃料キャップを本体から取外します。



5

漏斗（じょうご）などにゆっくり入れて、タンクから燃料を抜きます。



コネクタ

コネクタの抜けや緩みを確認します。



長期間使用しない時

本機を2週間以上使用しない時

1

「燃料の抜き方」を参照して、燃料タンクから燃料を抜きます。

2

エンジンをかけ、燃料切れで停止するまでアイドリングで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。余った燃料は、密封容器に入れ、冷暗所に保管し、1か月以内に使い切ってください。（燃料は使う前によくカクハンしてから使用してください。）

3

エンジンスイッチをOFFにしてください。

4

チョークレバーを引上げ「閉」にします。この時「カチッ！」と音がするまで引上げてください。



5

各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。

6

メインパイプにキャップをしてください。



7

刈刃カバーを装着し、湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。



長期間使用しない時

バッテリーについて

1

バッテリーは自然放電します。長期間使用しない場合は、3カ月に1回は充電をしてください。

困ったときの対処法

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	始動スイッチボタンの不良	メーカー、購入店に問い合わせ
	点火プラグ不良	交換
	点火プラグキャップ接続不良	点火プラグをしっかりとめる
	イグニッションコイルの不良	メーカー、購入店に問い合わせ
キャブレターに燃料が来ていない	燃料が入っていない	燃料を入れる
	燃料ホースの詰まり、漏れ	ホース清掃、交換
	燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	交換、フィルタ清掃
キャブレターに燃料は来ているが、エンジン内に燃料が来ていない	キャブレター詰まり (ニードル・バルブ固着)	キャブレター分解掃除 メーカー、購入店に問い合わせ
エンジンがかからない	古い燃料を使用している	新しい燃料と交換
	コネクタが抜けている・しっかりとハマっていない	しっかり挿込む(点検整備・清掃の仕方「コネクタ」参照)
	市販の 25:1 ~ 50:1 対応混合燃料を使用している	25:1 の混合燃料を使用する
	チョークレバーを上げずにセルスターターを押込んでいる	チョークレバーを上げ引く 初爆またはかかったらチョークレバー下げてセルスターターを押込む
	初爆を見落とし、セルスターターを押し続け、点火プラグが燃料で濡れている	いわゆる「かぶり」で点火プラグ、ピストン内部を乾かす

●エンジンはかかるが、回転があがらない

エンジンはかかるが、回転が上がらない	エアフィルタの汚れ	清掃または交換(点検整備・清掃の仕方「エアクリーナー」参照)
	キャブレターの調整不良	調整(点検整備・清掃の仕方「エアクリーナー」参照)

●エンジンが止まらない

エンジンが止まらない	配線端子(コネクタ)が緩んでいる	端子を押し込む
------------	------------------	---------

●燃料やオイルが漏れる

燃料やオイルがキャップから漏れる	ゴムパッキンが変形、または硬化	パッキンを外して、再度付け直すまたは交換
	プライマリーポンプ、燃料ホースの摩耗	交換

困ったときの対処法（点火プラグの点検）

点火プラグの点検 ※機種により、プラグの位置、プラグキャップやリコイルの形状等異なります。ご了承ください。

①プラグキャップを外し、付属のプラグレンチでプラグを外し、先端を確認します。



付属のプラグレンチで反時計回りに外します。振動等で緩まないよう少し固めに締め付けています。

先端が濡れている

燃料で濡れているため布等でよく拭きます。



リコイルスターターロープを引いて（15～20回）、プラグ穴から燃料が出てこないか確認し、出てきたらよく拭き取ります。

※「先端が濡れていない」に進みます。

先端は濡れていない

②外したプラグをキャップに取付けます。



③スイッチをONにします。

④プラグ先端をエンジン金属部に当てながら、リコイルスターターを引きます。





火花が出る

プラグに異常はありません。プラグ先端の濡れは燃料の行き過ぎで起こります。
再度エンジンをかけ、確認ください。それでもかからない場合は、他の原因が考えられます。

火花が出ない

エンジンオイル不足かプラグの不良か他の原因が考えられます。
購入先にお問い合わせください。

保証内容について

2025.10 現在

本規約は、ハイガー（以下「弊社」とする）を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日（ご来店引取の場合ご来店日）から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。（以下、この無料修理を「保証修理」とする）往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象（退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等）
- (11) 機能上影響のない感覚的な現象（音、振動、オイルのにじみ等）
- (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
- (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品（ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラジ、チェーン、バルブ内部の部品、パネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャーピン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等）
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填（休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等）

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡ください。
またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。
症状・使用状況を伺い、手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- ・無在庫転売者（送り先が毎回違う購入者）の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

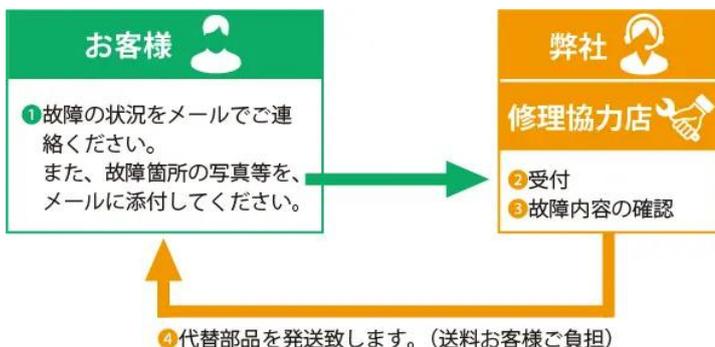
■アフターサービスについて■

1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
3. 保証期間（1年間）を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。

お客様ご相談窓口

故障部品をお客様で交換される場合

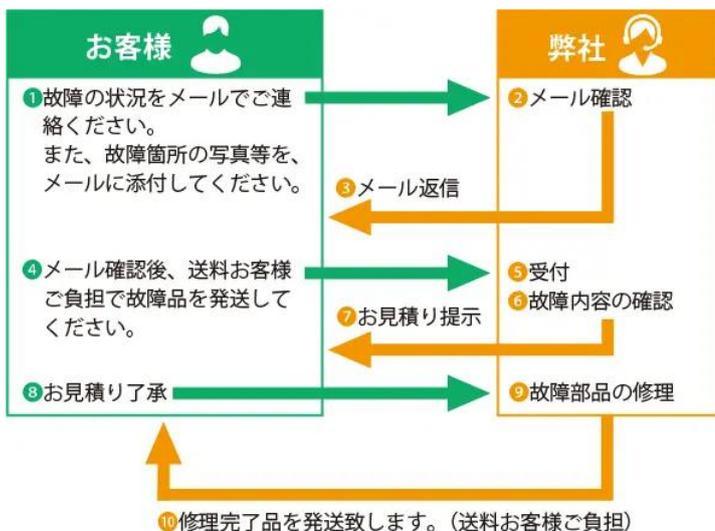
弊社にメールにてご連絡頂くかお近くの修理協力店にご連絡ください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料は全てお客様のご負担**となります。



故障部品を弊社で修理する場合

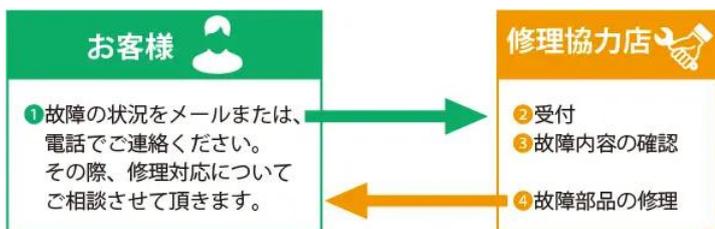
弊社にご連絡ください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。

修理依頼されるときは、メールにて下記事項をご連絡ください。
・ご注文番号・商品名・商品の型番・故障の状況・購入サイト・購入年月日・お名前・ご住所・電話番号



故障部品を修理協力店で修理する場合

お近くの修理協力店にご連絡ください。
保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる**往復の送料、また修理工賃は全てお客様のご負担**となります。
遠方の場合の出張修理や引取り修理は、別途料金が発生致します。



■保証適用について■
まず、ご購入された店舗にご連絡をしてください。

保証期間内は消耗品を除き、壊れた部品は弊社で保証致します。
その際に生じる往復の送料は全てお客様のご負担となります。

- ・本商品が対象となります。
- ※ただし、以下の場合は保証適用外となります。
- ・お客様のメンテナンス・確認不足等によるもの。
- ・人為的な破損等。
- ・運送会社など、第三者により生じた支障。
- ・弊社が故意・過失・他、正常のご使用に反して生じたと判断する全ての支障。

■初期不良について■

- ・初期不良期間は、ご使用回数に関係なく商品発送日より7日以内とさせていただきます。
- ・商品受領後、1週間以内にご連絡ください。
- ※無償修理又は無償交換のいずれかを弊社判断にて、ご対応させていただきます。
- ・修理協力店にご依頼の際は、修理工賃・部品代・送料は当社が負担させていただきます。

■消耗品について■

- ・消耗品につきましては、初期不良以外はすべて有償となります。

■保証期間について■

◎詳細は「保証内容について」ページをご確認ください。

- ・商品が出荷された日・お渡し（ご来店時）から1年間となります。業務用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。

修理、部品に関するご相談

修理依頼される時は、下記事項ご連絡ください。

- ①ご注文番号
- ②商品名
- ③商品の型番
- ④故障の状況
- ⑤購入サイト、年月日
- ⑥お名前
- ⑦ご住所
- ⑧電話番号

修理、使い方などのご連絡窓口

お手数ですが、今一度本取扱説明書を熟読し、弊社のサイトや動画等を見ていただき、問題が解決しない場合は、下記までお問い合わせください。

修理やご相談は本社カスタマー・サポート・センターまでお願い致します。

受付は年中無休ですが、メールのご返信は平日のみとなります。
また、内容によってはお調べするのに数日要する場合があります。
ご了承ください。
本社カスタマー・サポート・センター→<https://haige.jp/c/>

修理協力店

修理店により修理対応機械が異なりますので、最新情報は下記サイトをご覧ください。

本店サイト▶

<https://www.haigeshop.net/html/page3.html>

楽天サイト▶

<https://www.rakuten.ne.jp/gold/haige/support/repair/shop/>

ヤフーサイト▶

<https://shopping.geocities.jp/haige/after.html>

カスタマー・サポート

「製品のお困り事」は、カスタマー・サポート・センターへ。
「製品が利用できない」、「故障かな?」、「修理をしたい」、「パーツを購入したい」など、下記カスタマー・サポート・センターへ、お問い合わせください。

カスタマー・サポート・センターお問い合わせ窓口▶

<https://haige.jp/c/>

